

201418011A

厚生労働科学研究費補助金

認知症対策総合研究事業

認知症の介護・医療地域体制の実態・課題の  
可視化と系統的把握方法の研究開発

平成26年度 総括研究報告書

研究代表者 今中 雄一

平成27（2015）年3月

平成 26 年度 厚生労働科学研究費補助金  
認知症対策総合研究事業  
(H26 - 認知症 - 一般 - 001)

認知症の介護・医療地域体制の実態・課題の可視化と系統的把握方法の研究開発

研究代表者 今中 雄一 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野

----- 目次 -----

I. 総括研究報告書	-----	1
II. 資料	-----	7
・ 資料 1 :	-----	8
The effects of dementia and long-term care services on the deterioration of care-needs levels of the elderly in Japan		
・ 資料 2 :	-----	15
Association between long-term care service use, dementia, and the deterioration of care-needs levels among the elderly in Japan		
・ 資料 3 :	-----	28
The relationship between dementia diagnosis and long-term care expenditure		
・ 資料 4 :	-----	46
医療・介護レセプトデータによる認知症ケアの把握		
・ 資料 5 :	-----	53
認知症を考慮した自地域外での介護サービス使用と介護費用の関係の研究		
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	63

平成 26 年度 厚生労働科学研究費補助金 認知症対策総合研究事業  
総括研究報告書  
(H26 - 認知症 - 一般 - 001)

認知症の介護・医療地域体制の実態・課題の可視化と系統的把握方法の研究開発

研究代表者 今中 雄一 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野 教授  
研究分担者 猪飼 宏 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野 講師  
研究分担者 大坪 徹也 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野 助教  
研究分担者 武地 一 京都大学医学研究科 神経内科 講師  
研究分担者 林田 賢史 産業医科大学産業保健学部 教授  
研究分担者 廣瀬 昌博 島根大学医学部附属病院 病院医学教育センター 教授/センター長  
研究分担者 徳永 淳也 九州看護福祉大学 看護福祉学部 教授  
研究分担者 本橋 隆子 聖マリアンナ医科大学 予防医学教室 助教  
研究協力者 佐々木 典子 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野 助教  
研究協力者 國澤 進 立命館大学 生命科学部生命医科学科 助教  
研究協力者 林 慧茹 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野 博士後期課程

研究要旨

介護保険・医療保険レセプトデータを用いることで、認知症に関する疫学的解析を行うこと、および介護度や介護費用に認知症の及ぼす影響を解析するため、次の研究を行った。

(1) 認知症をはじめとする、介護の必要度や介護費用に影響を及ぼす因子の同定とその影響の大きさの解析

年齢、性別、利用サービスから見た重症度のほか、認知症の罹患は、要介護度の悪化や介護費用の増加に有意な要因であることが明らかになった。

(2) 認知症の有病率の推計可能性の検討、また有病率の地域差、投薬などの治療の実態の解明

医療保険レセプトデータだけではなく介護保険レセプトデータを併用することで、認知症の“有病率”が推計でき、そこから見られる地域差は政策を建てる際の有要な資料となることが示された。

(3) 認知症の状態を考慮した自地域外(市町村単位)介護サービスの使用の状況を明らかにし、介護費用の増大に関連する因子の探索

介護サービスのうち 3 分の 1 以上が居住地以外でのサービス利用であった。認知症の悪化予防に、サービス提供体制の見直しも必要と考えられた。

介護保険及び医療保険レセプトデータを用いることで、認知症の疫学的データを示すことができ、政策への応用の可能性が示唆された。また、介護度の悪化や、介護費用の増加には、認知症の罹患の有無が強く関連しており、介護・医療制度の今後の持続可能性は、認知症の予防が重要となることが示された。

## A. 研究目的

認知症は、社会的にも重要な課題の一つである。医療データベースの活用が進められているが、認知症については介護も重要な検討課題である。

そこで、京都府国保連の医療レセプトデータベースと介護レセプトデータの両方を用いることで、次の 3 つを目的とする研究を行った。

- (1) 認知症をはじめとする、介護の必要度や介護費用に影響を及ぼす因子の同定とその影響の大きさの解析
- (2) 認知症の有病率の推計可能性の検討、また有病率の地域差、投薬などの治療の実態の解明
- (3) 認知症の状態を考慮した自地域外(市町村単位)介護サービスの使用の状況を明らかにし、介護費用の増大に関連する因子の探索

## B. 研究方法

- (1) 認知症をはじめとする、介護の必要度や介護費用に影響を及ぼす因子の同定とその影響の大きさの解析

### (1-1) Deterioration of Care-needs Levels of the Elderly in Japan (資料1)

2010年から2011年の京都府介護保険を利

用した 65 歳以上 50,268 例のデータを解析した。このデータから、個々の症例の要介護度の悪化に関連する因子を、ロジスティック回帰モデルを作成し、探索した。

### (1-2) Association between long-term care service use, dementia, and the deterioration of care-needs levels among the elderly in Japan (資料 2)

2010 年度の京都府介護保険データより、要介護度 1 から 5 の症例を同定した。40 歳以上の 51,145 例(そのうち 65 歳未満は 877 例)を抽出し、後期高齢医療者医療制度保険データと結合を行った。認知症は、ICD-10 コードを基準に同定した。年度初めに 9,762(19.1%)の症例が認知症と診断されていたが、1 年の間に認知症の症例数は 15,949(31.2%)に増加していた。要介護度の悪化の原因を解析するため、年度初めの要介護度の状況により異なる多変数ロジスティック回帰モデルを作成し、解析を行った。

### (1-3) The relationship between dementia diagnosis and long-term care expenditure. (資料3)

2010 年 6 月から 2011 年 6 月の京都府介護保険を利用した 65 歳以上の症例を抽出した。44,444 例について、多重線形回帰モ

デルを用いて解析し、介護保険費用の増加に関連する因子を探索した。

#### (2)医療・介護レセプトデータによる認知症ケアの把握(資料4)

2010年4月から2012年3月までの京都府国保および後期高齢者医療制度における医科(入院・外来・DPC)および介護レセプトを用いた。病名および介護報酬の請求を用いて、認知症の症例を特定した。特定された症例に対する認知症治療薬の処方の有無を検索した

#### (3)認知症を考慮した自地域外での介護サービス使用と介護費用の関係の研究(資料5)

2011年6月の京都府介護保険データを用いて、要介護1から5の利用者を対象とした。対象利用者の記述統計と、介護費用を目的変数とした多変量線形回帰分析を行った。回帰分析の際には、施設サービス利用期間による費用の変化を考慮し施設サービスと居宅または地域サービスとの併用利用者は解析から除外した。性、年齢、要介護度、認知症の有無、種類ごとの施設サービス利用の状況、自地域外での施設サービス利用の有無を回帰分析の説明変数とした。

### C. 研究結果

#### (1)認知症をはじめとする、介護の必要度や介護費用に影響を及ぼす因子の同定とその影響の大きさの解析

##### (1-1) (資料1)

50,268の介護保険利用者の解析により、認知症、施設ケアサービス、男性、高齢、そしてもとの介護度が低いことが、その後の介護度の悪化に有意に関連していた。要介護度が高いと、サービスの違いによるオッズ比の違いは小さくなった。

##### (1-2) (資料2)

解析の結果、要介護度の悪化と、性別が男性であること(odds比 1.45)、高齢であること、そしてもとの要介護度が低いことが有意に関連していた。医療施設の利用に関して、施設ケアを利用していることはそのほかのサービス利用をしていることに比べて有意に要介護度の悪化と関連していた(地域密着型サービス: オッズ比 0.618;居宅サービス: オッズ比 0.636)。さらに、年度当初に認知症と診断されていた被保険者では、認知症と診断されていない(1年後も認知症ではない)被保険者と比べ1年間に有意な要介護度の悪化が見られた(オッズ比 1.43)。さらに、年度初めに認知症とは診断されておらず、1年間に認知症と診断された症例では、年度初めに認知症と診断されていた症例よりも要介護度悪化に関連していた(オッズ比 1.71)。このような解析を、年度当初の要介護度別に行ってみたが、いずれでも同様の結果が得られており、認知症の状態と要介護度の悪化は、有意な関連が見られた。ただし、もとの要介護度が高いと、要介護度の悪化に対するオッズ比は小さくなる傾向であった。

##### (1-3) (資料3)

多重線形回帰モデルを用いて、年齢、性別、

ベースラインの要介護度、介護利用の種類別の別を調整し解析したところ、認知症を診断されている場合に有意な介護費用が増加がみられた。また、介護費用はベースラインの要介護度の高さに関連していた。しかし高くなるにつれ、その増分は少なくなっていた。施設ケアサービスの利用に比べ、在宅ケアサービスや地域密着型サービスの利用は介護費用の増加に関連していた。しかも、認知症で施設サービスを利用している場合は、介護費用が比較的少なくなることが分かった。

## (2) 医療・介護レセプトデータによる認知症ケアの把握(資料4)

65歳以上被保険者数に対し、京都府全域で約12%の認知症症例が同定された。このうち約8割では介護サービスを受けていた。また約半数の症例で、2年間に医療入院がみられた。全年齢で病名としては約半数がアルツハイマー病、約5%が脳血管性と診断されており、約4分の1がその他の認知症(ICD-10コードとしてF03)とされていた。

地域(市町村)別に推計“有病率”を算出すると、65～69歳で約0.4～2%、70～74歳で約2～7%、75～79歳で約以上で約5～12%、80歳以上で約15～32%と、地域により違いがみられた。

これらの症例に対し、ドネペジル塩酸塩が約4割の症例に処方されていた。そのほか、メマンチン塩酸塩が約5%で処方されており、ガランタミン臭化水素酸塩およびリバスチグミンは約1%での処方がされていた。

## (3) 認知症を考慮した自地域外での介護サービス使用と介護費用の関係の研究(資料

5)

対象利用者 74,575 人の特徴を示す。年齢の中央値は 84 歳(四分位範囲:78-89)、21%が認知症を持っており、70%が女性であった。要介護度の上昇に伴い認知症を持つ利用者の割合も高くなっていた(要介護度1は11%、要介護度5は28%)。居宅サービスのみの利用者が61%を占めそのうち約4割が自地域外でのサービスを利用していた。回帰分析の結果、年齢、要介護度の上昇、認知症の併存、女性は有意に介護費用の増大に有意に関係していた。自地域外でのサービスの利用に関しては、施設サービス、居宅サービスは介護費用の増大に、地域密着サービスは介護費用の減少に有意に関連していた。

## D. 考察

(1) 認知症をはじめとする、介護の必要度や介護費用に影響を及ぼす因子の同定とその影響の大きさの解析

### (1-1) (資料1)

認知症、施設サービスの利用、男性、高齢、ベースラインの要介護度が低いことは、その後年での要介護度の悪化と有意に関連していた。

The disparity between odds ratios of home care services, dementia diagnoses, and facility care services on care-needs level deterioration diminished with increasing baseline care-needs levels. The other risk factors of care-needs level deterioration showed stronger associations as care-needs levels and age increased.

ベースラインの要介護度の違いと、認知症の

有無は、介護保険に対する政策を考える際に重要な要素である。

#### (1-2) (資料2)

解析の結果、施設サービスを利用する症例では、1年後の要介護度が悪化していた。また認知症も介護の必要となる疾患であり、認知症の発症を予防するような政策が期待され、認知症の症例の介護度が悪化するのを防ぐための研究が今後重要になると考えられる。

#### (1-3) (資料3)

解析の結果、認知症である場合、介護費用がかなり増加することが分かった。介護保険の持続可能性には、認知症の予防への介入がカギとなると考えられる。

#### (2) 医療・介護レセプトデータによる認知症ケアの把握(資料4)

医療・介護レセプトデータを用いることで、認知症の有病率の推計する手法の一つを示した。今回算出された推計“有病率”は近年の疫学調査に近い値を示している。レセプトデータでは、病名が過剰につけられる可能性を指摘されることがあるが、一方で、認知症でありながらも、その診断がついていなかったり医療や介護サービスを受けていない症例も存在すると考えられる。住民台帳ベースで行う調査では、それらの症例も同定することが可能であり、診療報酬データのみでの解析では有病率や本来の需要を過小評価する可能性も考えられる。ただし、認知症の約半数が入院を必要とする医療を受けており、認知症の症例をこれらのレセプトデータから同定する機会はかなり高いのではないかと考えられる。

今回の解析では、地域により推計“有病率”

に差がみられた。しかしここでも、この数値は医療や介護サービスを受けることで得られた推計値であることに注意が必要である。真の有病率に差がある可能性もある一方、医療・介護資源の乏しい地域では、サービスが受けにくいことにより今回の有病率が低く算出されている可能性も考えられる。このため、将来的には医療・介護資源と有病率の関連などをさらに解析するなど、需要と供給とのバランスを考慮した研究を続けていくことで、地域医療・介護政策への提言につながると考えられる。

#### (3) 認知症を考慮した自地域外での介護サービス使用と介護費用の関係の研究(資料5)

全体の約 36.4%の利用者が自地域外での介護サービスを利用していた。介護サービス利用者が自地域外でのサービスを利用する理由としては 1) 自地域内に適切な介護サービス提供者が不足している 2) 家族を含めた関係者の意向 3) 距離やサービスの質の点で自地域より他地域のサービス提供者の利便性が高いなどが考えられる。

今回の検討では、地域ごとの介護資源量を検討しておらず、今後地域ごとの介護サービス供給体制や介護サービス提供者を選ぶ際の理由についての検討が、適切な介護サービス提供体制の設計に役立つと思われる。同時に認知症の予防やリハビリなどによる悪化緩和策も重要であると思われた。

## E. 結論

介護保険及び医療保険レセプトデータを用いることで、認知症の疫学的データを示すことができ、政策への応用の可能性が示

唆された。また、介護度の悪化や、介護費用の増加には、認知症の罹患の有無が強く関連しており、介護・医療制度の今後の持続可能性は、認知症の予防が重要となることが示された。

## G. 研究発表

### 1. 論文、書籍発表

HR Lin, T Otsubo, Y Imanaka. The Effects of Dementia and Long-Term Care Services on the Deterioration of Care-needs Levels of the Elderly in Japan. *Medicine* Vol. 94, No.7, pp e525 - February, 2015 (資料1)

### 2. 学会発表等

1) Huei-Ru Lin, Tetsuya Otsubo, Yuichi Imanaka. Association between long-term care service use, dementia, and the deterioration of care-needs levels among the elderly in Japan IHEA July 2014 (資料2)

2) HR Lin, T Otsubo, Y Imanaka. The relationship between dementia diagnosis and long-term care expenditure. *Proceedings of The 9th Annual Conference of Japan Health Economics Association (JHEA)* pp.36(2014.09) (資料3)

3) 國澤 進, 林 慧茹, 猪飼 宏, 大坪 徹也, 佐々木 典子, 下妻 晃二郎, 今中 雄一. 医療・介護レセプトデータによる認

知症ケアの把握. 第 52 回 日本医療・病院管理学会学術総会 平成 26 年 9 月 14 日 抄録:日本医療・病院管理学会誌 51 卷 Suppl. Page 221 (2014.08) (資料4)

4) 林慧茹, 山下和人, 佐々木典子, 猪飼宏, 今中雄一. 認知症を考慮した自地域外での介護サービス使用と介護費用の関係の研究. 第 52 回 日本医療・病院管理学会学術総会 平成 26 年 9 月 14 日 抄録:日本医療・病院管理学会誌 51 卷 Suppl. Page 223 (2014.08) (資料5)

## H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

- |           |    |
|-----------|----|
| 1. 特許取得   | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他    | なし |



資料

OPEN

# The Effects of Dementia and Long-Term Care Services on the Deterioration of Care-needs Levels of the Elderly in Japan

Huei-Ru Lin, MS, Tetsuya Otsubo, PhD, and Yuichi Imanaka, MD, MPH, PhD

**Abstract:** To investigate the associations between dementia, the use of long-term care (LTC) services, and the deterioration of care-needs levels of elderly persons in Japan.

Using a retrospective cohort study, we analyzed 50,268 insurance beneficiaries aged 65 years and older who had utilized LTC services between 2010 and 2011 in Kyoto prefecture, Japan. Logistic regression analyses were used to identify predictors of care-needs level deterioration.

Dementia, facility care services, the male sex, older age, and lower baseline care-needs levels were associated with care-needs level deterioration. The disparity between odds ratios of home care services, dementia diagnoses, and facility care services on care-needs level deterioration diminished with increasing baseline care-needs levels. The other risk factors of care-needs level deterioration showed stronger associations as care-needs levels and age increased.

The effects of baseline care-needs levels and dementia should be considered when developing LTC policies.

(*Medicine* 94(7):e525)

**Abbreviations:** LTC = long-term care, LTCI = long-term care insurance, NHIDB = National Healthcare Insurance Database and Old-Old Adults Medical Care Program Database.

## INTRODUCTION

Japan's long life expectancy<sup>1</sup> has resulted in the emerging need for effective and efficient long-term care (LTC). In 2000, long-term care insurance (LTCI) Act was implemented for citizens above 65 years of age, as well as for citizens above 40 years of age deemed to require LTC services.

Eligibility for the LTCI Act is determined by municipalities, and is categorized into 7 distinct levels: these levels are designated support levels 1 to 2 and care-needs levels 1 to 5. The Act is provided by the Health and Welfare Bureau for the Elderly.<sup>2</sup> Under this Act, individuals who are able to live almost

completely independently are classified as support levels 1 or 2. In contrast, insured individuals who have difficulties in living independently are classified as care-needs levels 1 to 5, with the higher care-needs levels indicating greater deterioration of health and higher requirements for care.

Surveys conducted by the Japanese Health and Social Statistics Division, Statistics and Information Department<sup>3-5</sup> have shown that there was a rapid increase in the demand for LTC services in older individuals with dementia from 2004 to 2010. As dementia has been identified as the strongest independent predictor of medical and LTC utilization and expenditure among older individuals,<sup>6,7</sup> recent years have seen a rise in studies addressing its risk factors. Age, sex, smoking and alcohol consumption habits, body functions, cerebrovascular disease, and other factors have demonstrated associations with dementia incidence.<sup>8-11</sup> In addition, dementia severity and the rate of deterioration have been shown to significantly influence the rates of institutionalization, disability, and death.<sup>12,13</sup>

The primary goal of LTCI is to maintain each beneficiary's independence in daily life and to obviate further deterioration of their conditions. The Japanese government implemented reforms to the LTCI Act to create a community-based, prevention-oriented long-term care system in 2005.<sup>14</sup> Baseline care-needs levels, respite stays in nursing homes, medical plans by physicians, living with spouse, use of home help/bathing services, day care services, short stays, and age have been identified as factors associated with care-needs level changes.<sup>15-19</sup>

The correlation between dementia and the deterioration of LTC service users is still unclear. It is therefore necessary to investigate this association to prevent further deterioration of LTC care-needs levels in insured elderly people with dementia. However, most of the existing studies have focused on the risk factors of incident dementia.

Therefore, the objective of this study was to investigate the possible effects of dementia and use of LTC care services on the deterioration of care-needs levels of elderly persons in Japan.

## METHODS

We conducted a retrospective cohort study, and analyzed 50,268 insurance beneficiaries aged 65 years and older who had utilized LTC services between 2010 and 2011 in Kyoto prefecture, Japan. Logistic regression analyses were used to identify predictors of care-needs level deterioration. This study was approved by the Ethics Committee of Kyoto University Graduate School of Medicine (Number E1023).

## Subjects

All subjects were selected from LTCI beneficiaries aged 65 years and above who had utilized LTC services in June 2010 in Kyoto prefecture, Japan.

Subjects were excluded from analysis if they had fulfilled any of the following criteria: first, subjects classified as support

Editor: MA Hon-Ming.

Received: October 16, 2014; revised: January 5, 2015; accepted: January 13, 2015.

From the Department of Healthcare Economics and Quality Management, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Yoshida Konoe-cho, Sakyo-ku, Kyoto, Japan.

Correspondence: Yuichi Imanaka, Department of Healthcare Economics and Quality Management, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Yoshida Konoe-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8501, Japan (e-mail: imanaka-y@uminet).

Huei-Ru Lin is a recipient of a scholarship from Otsuka Toshimi Scholarship Foundation (Osaka, Japan). Other 2 authors have no funding and conflicts of interest to disclose.

Copyright © 2015 Wolters Kluwer Health, Inc. All rights reserved.

This is an open access article distributed under the Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives License 4.0, where it is permissible to download, share and reproduce the work in any medium, provided it is properly cited. The work cannot be changed in any way or used commercially.

ISSN: 0025-7974

DOI: 10.1097/MD.0000000000000525

levels 1 and 2 were excluded from analysis. Next, subjects who had not utilized LTC services in June 2011 and had been classified as care needs level 5 in June 2010 were also excluded, unless their death (deterioration) could be determined from the data. The deteriorating conditions could not be identified in care-needs level 5 unless the subjects were beneficiaries of National Healthcare Insurance, in which case we were able to identify if the patients had died. Furthermore, as diagnoses of dementia were identified using the relevant International Classification of Disease (ICD)-10 codes available in the National Healthcare Insurance Database and Old-Old Adults Medical Care Program Database (hereinafter, the 2 databases are collectively referred to as the “NHIDB”), service users who were not beneficiaries of National Healthcare Insurance were excluded from analysis. Also, people younger than 65 years were excluded. After employing these exclusion criteria, the study sample for analysis comprised 50,268 subjects, as shown in Figure 1.

**Dependent Variable**

The care-needs levels within the LTCI system are determined by each municipality in Kyoto. The respective LTC approval boards investigate the mental and physical condition of each insured individual and make judgments based on preliminary screenings and physician diagnoses. For this study, changes in care-needs levels were divided into 2 categories: stable or improved and deteriorated. The care-needs levels for long-term care services were categorized into the following 7 levels: support needs levels 1 and 2, and care needs levels 1 to 5. Higher care-needs levels indicate more severe conditions that require greater levels of care. Using data from 2 time points (June 2010 and June 2011), changes in care-needs levels for each patient were calculated by subtracting the baseline care-needs level in June 2010 from the care-needs level in June 2011.

If the numerical difference was negative or equal to 0, the care-needs level was designated as stable or improved; a positive difference indicated a deteriorated care-needs level. In addition, individuals who had died before June 2011 were also designated as having deteriorated care-needs levels.

The deterioration in care-needs level was utilized as the dependent variable in the statistical analysis.

**Independent Variables**

Sex, age (65–74, 75–84, 85–94, >95 years), baseline care-needs level, the type of LTC service used, and diagnosis of dementia were used as independent variables.

We collected service use data from June 2010 to May 2011. As recommended by the Ministry of Health, Labor, and Welfare, Japan, we categorized services into 3 main types according to their service characteristics. First, as individuals who use facility care services would not use the other types of services at the same time, individuals who had used facility care services during the observation period were classified as users of facility care services. Next, since home care services comprised the largest proportion of services used by individuals, and community-based care services had been established relatively recently in 2006 and were therefore not as widespread as home care services in our study region, we classified individuals as users of home care services if they had used these services during the observation period. Finally, all other individuals were classified as users of community-based care and other care services.

With regard to the identification of dementia cases, subjects were categorized into 3 distinct categories: non-dementia (individuals who had no diagnosis of dementia during the observation period); baseline dementia (individuals with dementia diagnoses at the baseline); and new dementia (individuals who were not dementia patients at baseline, but received a diagnosis of dementia during the observation period).

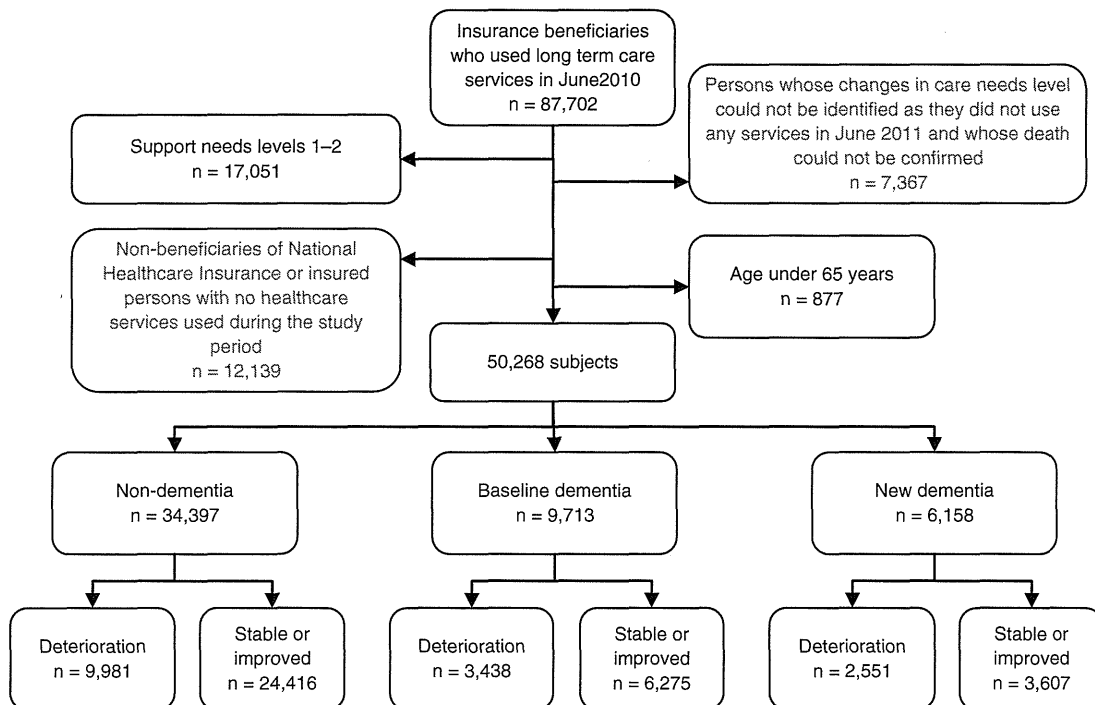


FIGURE 1. Subject selection. Flowchart detailing subject selection, the study sample for analysis comprised 50,268 subjects.

### Statistical Analysis

We first conducted a descriptive analysis of the total study sample and of the subgroups according to change in care-needs levels. This descriptive analysis included age, sex, baseline care-needs level, dementia status, and type of LTC service used. Chi-square tests were used to compare the variables (including sex, age, baseline care-needs level, type of service use, and dementia diagnoses) between the deteriorated and stable or improved groups (Table 1). All these variables were also included as independent variables in the multivariable binary logistic regression.

The multivariable logistic regression analyses were conducted for each of the subgroups of different baseline care-needs levels. C-statistics were calculated to indicate goodness-of-fit. Statistical significance was set at  $P \leq 0.05$ . IBM SPSS 20.0J for Windows (SPSS Japan Inc., Tokyo, Japan) was used for all statistical analyses.

## RESULTS

### Demographic Characteristics

The characteristics of the study subjects are shown in Table 1.

The mean age of the group that showed deterioration in care-needs levels was higher than that of the group that showed stable or improved care-needs levels.

The deterioration proportion refers to the proportion of cases who demonstrated deterioration in care-needs levels among all cases within a specific subgroup. In higher age groups, the proportions of deteriorated cases were observed to increase. In contrast, the proportions of deteriorated cases decreased with increasing care-needs levels. Cases with new diagnoses of dementia demonstrated the highest deterioration proportion (41.4%) when compared with the other 2 dementia groups. Baseline dementia patients showed a higher deterioration proportion (35.4%) than nondementia cases (29.0%).

For the service type categories, individuals who used facility care services had a higher deterioration proportion (35.6%) than the other service groups. The deterioration proportions of cases using home care services and community-based care services were similar at approximately 30%. Overall, the deterioration proportion was 31.8%.

### Multivariable Logistic Regression of Care-needs level Deterioration

Table 2 shows the results of a multivariable logistic regression analysis using care needs level deterioration as the

**TABLE 1.** Demographic Characteristics of All Subjects According to Changes in Care-needs Levels Between 2010 and 2011

Variable	Change in Care-Needs Level		Deterioration Proportion (%)	P Value*
	Stable or Improved n = 34,298	Deteriorated n = 15,970		
Age (mean ± SD), y	83.9 ± 7.4	85.6 ± 7.3		
	n (%)	n (%)		
Age group, y				<0.05
65–69	1,375 (4.0)	381 (2.4)	21.7	
70–74	2,483 (7.2)	747 (4.7)	23.1	
75–79	5,313 (15.5)	1,920 (12.0)	26.5	
80–84	8,475 (24.7)	3,577 (22.4)	29.7	
85–89	8,775 (25.6)	4,195 (26.3)	32.3	
90–94	5,536 (16.1)	3,331 (20.9)	37.6	
>95	2,341 (6.8)	1,819 (11.4)	43.7	
Sex				<0.05
Female	25,144 (73.3)	11,121 (69.6)	30.7	
Male	9,154 (26.7)	4,849 (30.4)	34.6	
Baseline care-needs level				<0.05
1	6,044 (17.6)	3,791 (23.7)	38.5	
2	9,692 (28.3)	4,277 (26.8)	30.6	
3	7,588 (22.1)	3,604 (22.6)	32.2	
4	5,869 (17.1)	2,864 (17.9)	32.8	
5	5,105 (14.9)	1,434 (9.0)	21.9	
Dementia				<0.05
Nondementia	24,416 (71.2)	9,981 (62.5)	29.0	
Baseline dementia	6,275 (18.3)	3,438 (21.5)	35.4	
New dementia	3,607 (10.5)	2,551 (16.0)	41.4	
Services used				<0.05
Facility care services	9,309 (27.1)	5,363 (33.6)	36.6	
Home care services	24,231 (70.6)	10,268 (64.3)	29.8	
Community-based care service	758 (2.2)	339 (2.1)	30.9	
Total	34,298 (100)	15,970 (100)	31.8	

\* Result of chi-square test of numbers of samples of stable or improved and deteriorated group, all p-value are two-tailed; those under 0.05 are considered to be statistically significant.

**TABLE 2.** Results of Logistic Regression Analysis of Care-needs level Deterioration in all Subjects

Variable	Odds Ratio (95% Confidence Interval)	P Value
Services used		
Facility care service (reference)	1	
Home care service	0.631 (0.60–0.66)	<0.05
Community-based care service	0.628 (0.55–0.72)	<0.05
Dementia		
Nondementia (reference)	1	
Baseline dementia	1.42 (1.35–1.49)	<0.05
New dementia	1.70 (1.61–1.80)	<0.05
Age, y		
65–69 (reference)	1	
70–74	1.06 (0.92–1.22)	0.458
75–79	1.21 (1.18–1.70)	<0.05
80–84	1.39 (1.23–1.57)	<0.05
85–89	1.63 (1.45–1.85)	<0.05
90–94	2.17 (1.91–2.45)	<0.05
>95	3.04 (2.66–3.48)	<0.05
Sex, male (reference:female)	1.47 (1.41–1.54)	<0.05
Baseline care-needs level		
Care needs level 1 (reference)	1	
Care needs level 2	0.66 (0.63–0.70)	<0.05
Care needs level 3	0.60 (0.56–0.64)	<0.05
Care needs level 4	0.55 (0.52–0.59)	<0.05
Care needs level 5	0.31 (0.28–0.33)	<0.05
C-statistic	0.634	

dependent variable; age, sex, baseline care needs level, dementia status, and type of services used were the independent variables.

The analysis showed that the factors associated with the deterioration of care-needs levels were the male sex (odds ratio [OR]=1.47), older age, and lower baseline care-needs level. With regard to the types of LTC services used, facility care services were associated with higher deterioration than other types of services (community-based care services: OR=0.628; home care services: OR=0.631). Moreover, New dementia cases (OR=1.70) and baseline dementia cases (OR=1.42) had higher risks of care-needs level deterioration than nondementia cases.

### Multivariable Logistic Regression of Care-needs level Deterioration by Baseline Care-needs Level Subgroups

Table 3 shows the results of the multivariable logistic regression analyses conducted to clarify the predictors of care-needs level deterioration according to baseline care needs level.

Similar results were observed in the various regression models for each baseline care needs level used to analyze the associations between dementia diagnosis and care-needs level deterioration. The ORs for the various predictors were observed to decrease as care-needs level increased. Factors associated with deterioration among baseline care needs levels 1 to 4 were the male sex, older age, dementia diagnosis, and facility care services use. For care-needs level 5, only the male sex, older age, and home care services use were associated with care-needs level deterioration. Dementia diagnosis showed no association with care-needs level deterioration in baseline care-needs level 5.

Although facility care services demonstrated the highest OR for care-needs level deterioration (relative to the other 2 types of services) among cases certified at care-needs levels 1 to 4, the ORs of both home care services and community-based care services increased together with the baseline care needs levels. The lower the care-needs level, the higher the risk of deterioration was for facility care services use; however, the disparity between facility care services and home care services diminished as care-needs levels increased.

Age was inconsistently associated with care-needs level deterioration. The 70 to 74 years' age group was not significant for all subjects and for the various baseline care-needs levels, the 75 to 79 years' age group was only significant in care-needs level 3, and the 80 to 84 years' age group was only significant in care-needs levels 3 and 5. However, ages above 85 years were significant at all baseline care-needs levels. Furthermore, the ORs of age groups above 85 years and the male sex were the highest in care-needs level 5, followed by care-needs level 3.

### DISCUSSION

This study investigated how dementia diagnosis and type of LTC service use can influence care-needs level deterioration. We focused our analysis on National Health Insurance beneficiaries who had utilized LTC services between June 2010 and May 2011 in Kyoto prefecture, Japan.

Our findings showed that LTC service users with new or baseline diagnoses of dementia were strongly associated with care-needs level deterioration; in particular, new dementia cases showed a high OR (1.70) of deterioration of care-needs level relative to nondementia cases. This risk was observed to decrease as the baseline care-needs level increased. Because the main symptom of dementia is disruptive behavior or behavioral disorder,<sup>20</sup> cases with care-needs level 5 are frequently

**TABLE 3.** Results of Logistic Regression Analysis of Care-needs level deterioration by Baseline Care-needs Level

Variables	Baseline Care-needs Level				
	1	2	3	4	5
	OR (95% CI)	OR (95% CI)	OR (95% CI)	OR (95% CI)	OR (95% CI)
Age, y					
65–69 (reference)	1	1	1	1	1
70–74	1.07 (0.78–1.42)	0.96 (0.74–1.23)	1.11 (0.81–1.52)	1.08 (0.78–1.50)	1.22 (0.73–2.05)
75–79	1.11 (0.83–1.47)	0.96 (0.76–1.20)	1.62 (1.23–2.13) <sup>†</sup>	1.19 (0.88–1.60)	1.66 (1.05–2.63) <sup>*</sup>
80–84	1.25 (0.95–1.65)	1.20 (0.97–1.50)	1.72 (1.32–2.24) <sup>‡</sup>	1.16 (0.87–1.55)	2.67 (1.72–4.16) <sup>‡</sup>
85–89	1.52 (1.16–2.01) <sup>†</sup>	1.30 (1.05–1.62) <sup>†</sup>	1.91 (1.46–2.49) <sup>‡</sup>	1.51 (1.13–2.02) <sup>†</sup>	3.42 (2.20–5.30) <sup>‡</sup>
90–94	1.92 (1.44–2.55) <sup>‡</sup>	1.83 (1.46–2.29) <sup>‡</sup>	2.47 (1.89–3.24) <sup>‡</sup>	1.90 (1.42–2.54) <sup>‡</sup>	4.95 (3.18–7.71) <sup>‡</sup>
>95	2.96 (2.11–4.15) <sup>‡</sup>	2.86 (2.23–3.67) <sup>‡</sup>	3.42 (2.57–4.54) <sup>‡</sup>	2.26 (1.68–3.06) <sup>‡</sup>	7.45 (4.76–11.7) <sup>‡</sup>
Sex, male (reference: female)	1.37 (1.25–1.51) <sup>‡</sup>	1.40 (1.28–1.52) <sup>‡</sup>	1.50 (1.37–1.65) <sup>‡</sup>	1.41 (1.27–1.57) <sup>‡</sup>	1.97 (1.70–2.29) <sup>‡</sup>
Services used					
Facility care service (reference)	1	1	1	1	1
Home care service	0.26 (0.22–0.30) <sup>‡</sup>	0.38 (0.34–0.42) <sup>‡</sup>	0.63 (0.58–0.69) <sup>‡</sup>	0.88 (0.80–0.97) <sup>†</sup>	1.30 (1.15–1.47) <sup>‡</sup>
Community-based care services	0.28 (0.20–0.38) <sup>‡</sup>	0.43 (0.33–0.57) <sup>‡</sup>	0.50 (0.38–0.65) <sup>‡</sup>	0.62 (0.44–0.88) <sup>†</sup>	1.30 (0.79–2.14)
Dementia					
Nondementia (reference)	1	1	1	1	1
Baseline dementia	1.53 (1.37–1.72) <sup>†</sup>	1.84 (1.66–2.04) <sup>‡</sup>	1.38 (1.24–1.52) <sup>‡</sup>	1.22 (1.09–1.36) <sup>‡</sup>	1.00 (0.87–1.16)
New dementia	1.83 (1.62–2.08) <sup>‡</sup>	2.30 (2.05–2.58) <sup>‡</sup>	1.64 (1.46–1.84) <sup>‡</sup>	1.36 (1.19–1.57) <sup>‡</sup>	1.12 (0.94–1.34)
C-statistic	0.631	0.659	0.623	0.586	0.649

CI = confidence interval, OR = odds ratio.

<sup>\*</sup>  $P < 0.05$ .

<sup>†</sup>  $P < 0.01$ .

<sup>‡</sup>  $P < 0.001$ , respectively.

bedridden with limited ability for independent activity. This may explain the lack of significant association between dementia and deterioration at care-needs level 5.

Moreover, the disparity between ORs of new dementia (OR = 1.70) and baseline dementia (OR = 1.42) cases was small. Although the causes of dementia can vary, all of them could affect memory, cognition, and the ability to perform instrumental activities of daily living (ADL).<sup>21</sup> As such, the distinction between types of dementia is blurred, which may have resulted in the small differences in ORs between baseline dementia and new dementia cases.

Previous studies have tended to focus on baseline dementia. Sauvaget et al<sup>11</sup> reported that dementia patients had significantly greater reductions in ADL and instrumental ADL (IADL) scores when compared with non-dementia patients. As the criteria for determining care-needs level include ADL and IADL components in Japan, it is unsurprising that the decline of both ADL and IADL is strongly associated with care-needs level deterioration. Furthermore, our results are consistent with previous studies that report dementia as a significant factor in predicting physical function decline or institutionalization among nursing home residents or in general populations.<sup>11,12,22,23</sup>

Because of the lack of a significant association between dementia and deterioration at baseline care-needs level 5 (as well as the strong associations in lower care needs levels), we suggest that policymakers should place an emphasis on monitoring beneficiaries suffering from dementia, which may result in the further deterioration of their care-needs level. The LTC service providers need to be aware of the detailed

symptoms of their service users who may have dementia to prevent further worsening of their conditions. In this way, there is an important role for LTC service providers to strategically develop and manage appropriate care plans for service users to prevent premature deterioration.

Olivares-Tirado et al<sup>17</sup> investigated the predictors of LTC expenditures, and observed that a decline in functional status and use of facility care services were highly associated with higher expenditures. This suggests that the government should plan how to provide sufficient and appropriate facility care and home care services for those with higher requirements for care, and review the eligibility criteria for facility care services to avoid improper institutionalization.

Facility care services use in the baseline care-needs level 5 group showed smaller risk (OR = 1.0) of deterioration than home care services use (OR = 1.3). Facility care services are designed for persons who have difficulties in living independently at home and therefore require intensive nursing care. The average care-needs levels of LTC facility residents have been reported to be  $\geq 3$ , regardless of type of facility.<sup>24</sup> However, there are approximately 179,000 insured individuals with care-needs levels 4 and 5 on waiting lists for admission to LTC facilities,<sup>25</sup> indicating that current capacities are inadequate to meet the needs of service users. Consequently, unfulfilled facility care services needs would compel people to turn to home care services or other type of available services instead. However, due to Japanese cultural norms, many elderly people may prefer to live at home and choose home care services rather than facility care services, especially near the end of life.<sup>26</sup>

Among the lower care-needs levels 1 and 2, those using community-based care services had higher risks of deterioration than those using home care services. In contrast, the risk of deterioration for home care services use was higher than for community-based services use in care-needs levels 3 and 4. However, in persons certified as care needs level 5, the impact of community-based care services relative to facility care services was not significant. Community-based care services were introduced in 2006 with the aim of supporting those who require LTC in communities where they can continue to live in a pleasant and familiar environment.<sup>27</sup> Accordingly, community-based care services maybe more appropriate than facility care services for persons with lower care-needs levels. As community-based care services were introduced later than the other types of services, there is currently far less utilization of the former. To the best of our knowledge, there has yet to be a study that has addressed community-based care services in Japan.

Our results suggest that the use of home care services may prevent further deterioration for baseline care needs levels 1 to 4, and that this impact diminishes with increasing care-needs level. The Japanese government has indicated that less severe care-needs level service users who, despite being able to independently live at home, choose to utilize home care services may in fact reduce their levels of physical activity, resulting in the deterioration of their conditions. To prevent this deterioration in those with lower care-needs levels, the LTCI Act was partially revised in 2005 to place an emphasis on preventive measures.<sup>27</sup> Koike and Furui have similarly reported that home care services use may prevent the deterioration of care needs level when compared with non-home care services users (but who may use other types of services).<sup>16</sup> Ishibashi and Ikegami<sup>28</sup> have indicated that beneficiaries with baseline care-needs level 1 who use home help services have lower risk of care-needs level-deterioration than those who use day care services. In addition, Kim and Shiwaku<sup>19</sup> report that the use of home help/bathing care services in the lower care-needs level beneficiaries was significantly associated with reduced deterioration in an analysis of 8 kinds of home services. In our study, home care services use was found to have lower risk of deterioration than facility care services use among care needs levels 1 to 4. Although there have been several studies addressing the association between home care services use and care-needs levels or ADL/IADL deterioration, the actual effectiveness of home care services use relative to non-use has yet to be clarified and should be investigated in the near future. Our findings suggest that the appropriate type of LTC services may be different for each care needs level. Further studies are needed to determine the most appropriate care-plan for each care needs level, taking into account dementia diagnoses.

In addition to dementia diagnoses and types of services used, our results showed that, similar to previous studies, sex,<sup>29</sup> age,<sup>19,30</sup> and lower baseline care-needs levels<sup>16</sup> were associated with deterioration in all subjects and care needs level subgroups. Men had a higher risk of deterioration, and the risk increased with higher care-needs levels.

With regard to age, it has been observed that greater frailty is significantly associated with decreased survival,<sup>31</sup> and frailty syndrome is associated with aging.<sup>32</sup> The increase in frailty that accompanies aging is therefore likely to be an important risk factor leading to the decrease in physical function.

In our study, the risk factors of deterioration in the care-needs level 5 subgroup were dementia diagnosis, sex, older age, and home care services use (OR = 1.30). Few studies have reported the risk factors of care-needs level deterioration in

persons with care needs levels 4 or 5: Kato et al<sup>15</sup> analyzed samples certified as care-needs levels 1 to 5, but had categorized subjects into 2 groups comprising care-needs levels 1 to 3 and levels 4 to 5. Ishibashi and Ikegami and Tomita et al<sup>18,28</sup> only focused on the lower care needs levels, and Koike and Furui investigated subjects with care-needs levels 1 to 4.<sup>16</sup> Preventive care is necessary of service users from lower care-needs levels to minimize the deterioration of their conditions. However, the improvement or maintenance of the health conditions and living abilities of service users at care-needs level 5 would also be an important issue for the government to address. Although older age was shown to be highly associated with deterioration, there were no similar significant associations in the younger patients among the lower care-needs levels. Our results suggest that the baseline care-needs level should be considered a fundamental factor when considering LTC policy development.

Although previous studies have investigated the relationships between the deterioration in care-needs levels and types of services used,<sup>15,16,19,33</sup> our study examines this relationship while also addressing the effects of dementia diagnoses.

Future research is required to examine whether LTC service resources are appropriately allocated relative to the needs in each medical area and care-needs level, especially for dementia patients.

## LIMITATIONS

This study should be interpreted while giving consideration to the following limitations. First, only 2 time points were used to calculate the care-needs level changes; we were unable to confirm whether the beneficiaries were reclassified during the study period.

Furthermore, there are multiple possible reasons for losing cases to follow-up that we could not determine whether the care needs level improved or deteriorated in such cases. These censored cases may therefore affect the generalizability of our findings. In the study, 7367 individuals (approximately 8.5% of the overall sample) were censored due to their lack of service use in June 2011 and as their deaths (deterioration) could not be confirmed in the NHIDB. As the dependent variable of our study was the change in care needs level, individuals whose changes in care-needs levels could not be calculated from the 2 time points (June 2010 and June 2011) were not included in our study sample. Furthermore, 12,139 samples who were nonbeneficiaries of National Healthcare Insurance were excluded from our analysis. After we examined the censored cases, individuals younger than 75 years with baseline care-needs levels >3 was found to account for 7.7% of our sample, but this proportion was approximately doubled (14.6%) in the censored cases. People younger than 75 years may be enrolled in other medical insurance systems, instead of National Healthcare Insurance. However, since age groups and baseline care-needs levels were independent variables in this study and their effects had therefore been accounted for in the regression model, we think that there would be no substantial bias due to the exclusion of the censored cases in our study.

Next, our sample was limited to insurance beneficiaries with baseline care-needs levels 1 to 5 who had utilized LTC services between June 2010 and May 2011. Therefore, people with care-needs levels below these classifications or who had not used any LTC services during our study period were not included in our analysis.

Finally, this study utilized a cross-sectional design, which prevents us from making conclusions about the causal directionalities of the relationships observed.

## CONCLUSIONS

Our findings showed that dementia diagnosis, the use of facility care services, the male sex, and older age were associated with higher risk of care-needs level deterioration. In comparison to home care services and community-based care services, the use of facility care services had stronger associations with care-needs level deterioration among persons with lower care needs. Moreover, the impact of baseline dementia on care-needs level deterioration diminished with increasing baseline care-needs levels. Our study suggests that the baseline care-needs level and dementia diagnosis should be considered important factors when developing LTC policies.

## REFERENCES

- World Health Organization. *WESTERN PACIFIC Country Health Information Profiles 2011 REVISION*. World Health Organization; 2011.
- Health and Welfare Bureau for the Elderly. Long-term Care for the Elderly in 2015. 2003; <http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/kentou/15kourei/index.html>. Accessed March 31, 2014.
- Health and Social Statistics Division of Statistics and Information Department Comprehensive Survey of Living Conditions. 2004; <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa04/4-2.html>. Accessed September 17, 2013.
- Health and Social Statistics Division of Statistics and Information Department Comprehensive Survey of Living Conditions. 2007; <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa07/4-2.html>. Accessed September 17, 2013.
- Health and Social Statistics Division of Statistics and Information Department Comprehensive Survey of Living Conditions. 2010; <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa10/4-2.html>. Accessed September 17, 2013.
- Arling G, Tu W, Stump TE, et al. Impact of dementia on payments for long-term and acute care in an elderly cohort. *Med Care*. 2013;51:575–581.
- Langa KM, Larson EB, Wallace RB, et al. Out-of-pocket health care expenditures among older Americans with dementia. *Alzheimer Dis Assoc Disord*. 2004;18:90–98.
- Anstey KJ, Mack HA, Cherbuin N. Alcohol consumption as a risk factor for dementia and cognitive decline: meta-analysis of prospective studies. *Am J Geriatr Psychiatry*. 2009;17:542–555.
- Luck T, Lupp M, Wiese B, et al. Prediction of incident dementia: impact of impairment in instrumental activities of daily living and mild cognitive impairment—results from the German study on ageing, cognition, and dementia in primary care patients. *Am J Geriatr Psychiatry*. 2012;20:943–954.
- Rakowski DA, Caillard S, Agodoa LY, et al. Dementia as a predictor of mortality in dialysis patients. *Clin J Am Soc Nephrol*. 2006;1:1000–1005.
- Sauvaget C, Yamada M, Fujiwara S, et al. Dementia as a predictor of functional disability: a four-year follow-up study. *Gerontology*. 2002;48:226–233.
- Matsuda S, Tanaka M, Kubo T, et al. Factors associated with length of stay of the elderly patient in the Japanese long term care wards. *Asian Pacific J Dis Manag*. 2009;3:75–81.
- Murtaugh CM, Spillman BC, Wang XD. Lifetime risk and duration of chronic disease and disability. *J Aging Health*. 2011;23:554–577.
- Tsutsui T, Muramatsu N. Japan's universal long-term care system reform of 2005: containing costs and realizing a vision. *J Am Geriatr Soc*. 2007;55:1458–1463.
- Kato G, Tamiya N, Kashiwagi M, et al. Relationship between home care service use and changes in the care needs level of Japanese elderly. *BMC Geriatr*. 2009;9:58.
- Koike S, Furui Y. Long-term care-service use and increases in care-need level among home-based elderly people in a Japanese urban area. *Health Policy*. 2013;110:94–100.
- Olivares-Tirado P, Tamiya N, Kashiwagi M. Effect of in-home and community-based services on the functional status of elderly in the long-term care insurance system in Japan. *BMC Health Serv Res*. 2012;12:239.
- Tomita N, Yoshimura K, Ikegami N. Impact of home and community-based services on hospitalisation and institutionalisation among individuals eligible for long-term care insurance in Japan. *BMC Health Serv Res*. 2010;10:345.
- Kim J-N, Shiwaku K. The effect of utilization of in-home services and the changes in levels of care needs of frail persons (2002–2004): results of a two-year follow-up study. *J Rural Med*. 2012;7:6–14.
- Norton MJ, Allen RS, Snow AL, et al. Predictors of need-driven behaviors in nursing home residents with dementia and associated certified nursing assistant burden. *Aging Ment Health*. 2010;14:303–309.
- National Collaborating Centre for Mental H. National Institute for Health and Clinical Excellence: Guidance. Dementia: A NICE-SCIE Guideline on Supporting People With Dementia and Their Carers in Health and Social Care. Leicester (UK): British Psychological Society. The British Psychological Society & The Royal College of Psychiatrists; 2007.
- Carpenter GI, Hastie CL, Morris JN, et al. Measuring change in activities of daily living in nursing home residents with moderate to severe cognitive impairment. *BMC Geriatr*. 2006;6:7.
- Gaugler JE, Yu F, Krichbaum K, et al. Predictors of nursing home admission for persons with dementia. *Medical Care*. 2009;47:191–198. [10.1097/MLR.1090b1013e31818457ce](https://doi.org/10.1097/MLR.1090b1013e31818457ce).
- Health and Social Statistics Division of Statistics and Information Department. Survey of Long-term Care Benefit Expenditures, 2012. 2012; <http://www.mhlw.go.jp/english/database/db-hss/soltc-be2012.html>. Accessed June 19, 2014.
- Ministry of Health Labour and Welfare. Status of the applicant's admission of nursing home. 2010; <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000003byd.html>. Accessed March 25, 2014.
- Health and Welfare Bureau for the Elderly. The opinion of Long-Term Care Insurance Committee in social security council. Health and Welfare Bureau for the Elderly. Tokyo 2013.
- Ministry of Health Labour and Welfare. Annual Health, Labour and Welfare Report 2006: Ministry of Health, Labour and Welfare; 2006.
- Ishibashi T, Ikegami N. Should the provision of home help services be contained?: validation of the new preventive care policy in Japan. *BMC Health Serv Res*. 2010;10:224.
- Kashiwagi M, Tamiya N, Sato M, et al. Factors associated with the use of home-visit nursing services covered by the long-term care insurance in rural Japan: a cross-sectional study. *BMC Geriatr*. 2013;13:1.
- Ho HK, Matsubayashi K, Wada T, et al. Factors associated with ADL dependence: a comparative study of residential care home and community-dwelling elderly in Japan. *Geriatr Gerontol Int*. 2002;2:80–86.
- Klei BEK, Klein R, Knudtson MD, et al. Frailty, morbidity and survival. *Arch Gerontol Geriatr*. 2005;41:141–149.
- Ahmed N, Mandel R, Fain MJ. Frailty: an emerging geriatric syndrome. *A J Med*. 2007;120:748–753.
- Fukuma M, Shiwaku K. Changes of care levels of frail elderly individuals after introduction of long-term nursing care insurance system. *J Jpn Association of Rural Medicine*. 2010;58:516–525.



# Association between long-term care service use, dementia, and the deterioration of care-needs levels among the elderly in Japan

Huei-Ru Lin

And

Tetsuya Otsubo, Yuichi Imanaka

Kyoto University

IHEA July 2014



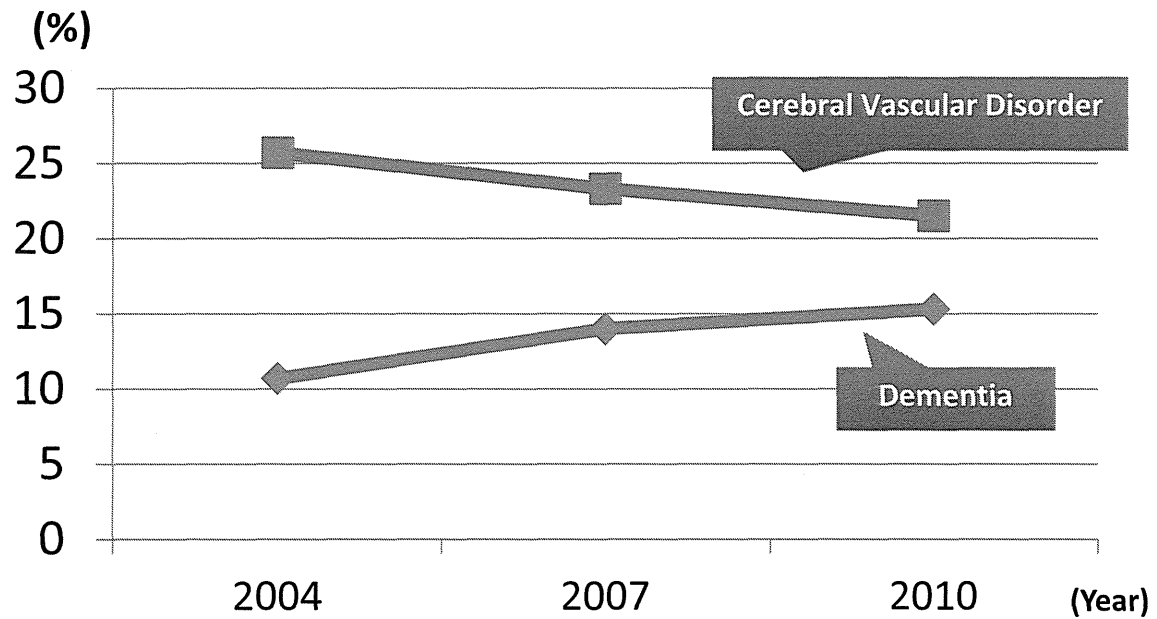
**KYOTO UNIVERSITY**  
FACULTY / GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE

---

## **THE SITUATION OF THE ELDERLY IN JAPAN NOW**



# The main reason of needing long-term care service



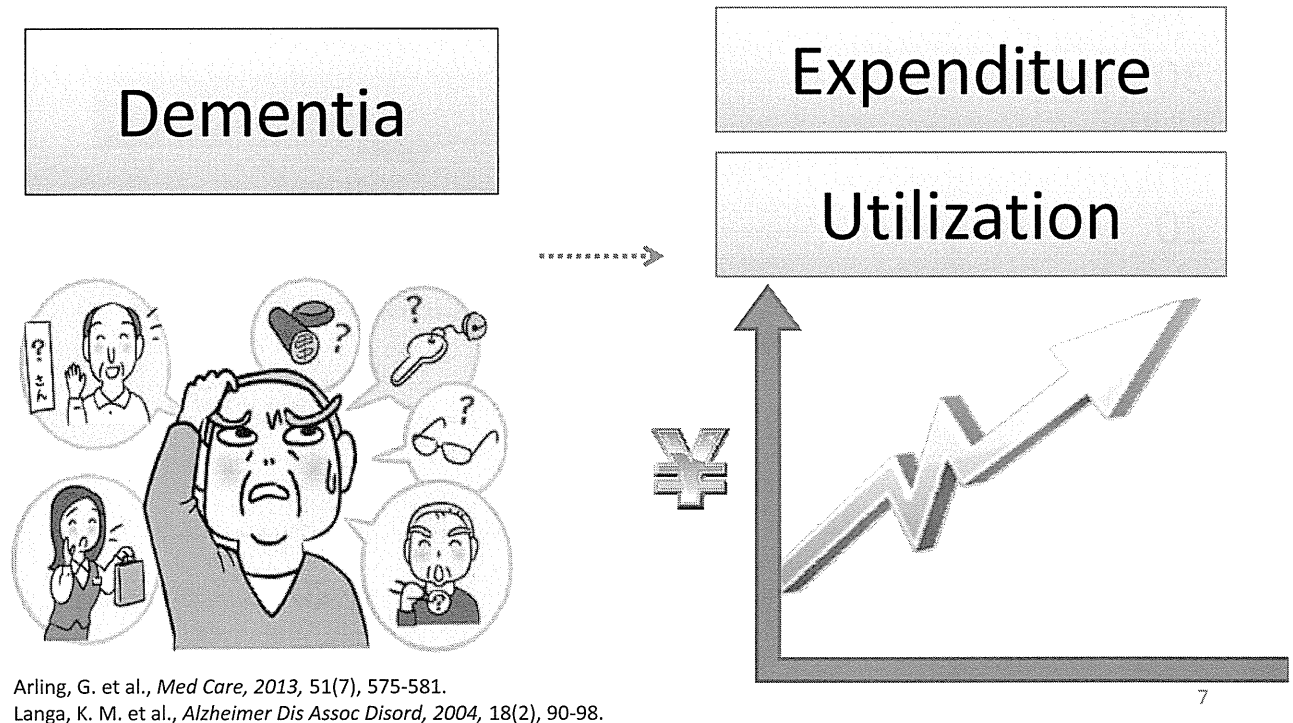
5

Health and Social Statistics Division of Statistics and Information Department (2004). Comprehensive Survey of Living Conditions., from <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa04/4-2.html>  
Health and Social Statistics Division of Statistics and Information Department (2007). Comprehensive Survey of Living Conditions., from <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa07/4-2.html>  
Health and Social Statistics Division of Statistics and Information Department (2010). Comprehensive Survey of Living Conditions., from <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa10/4-2.html>

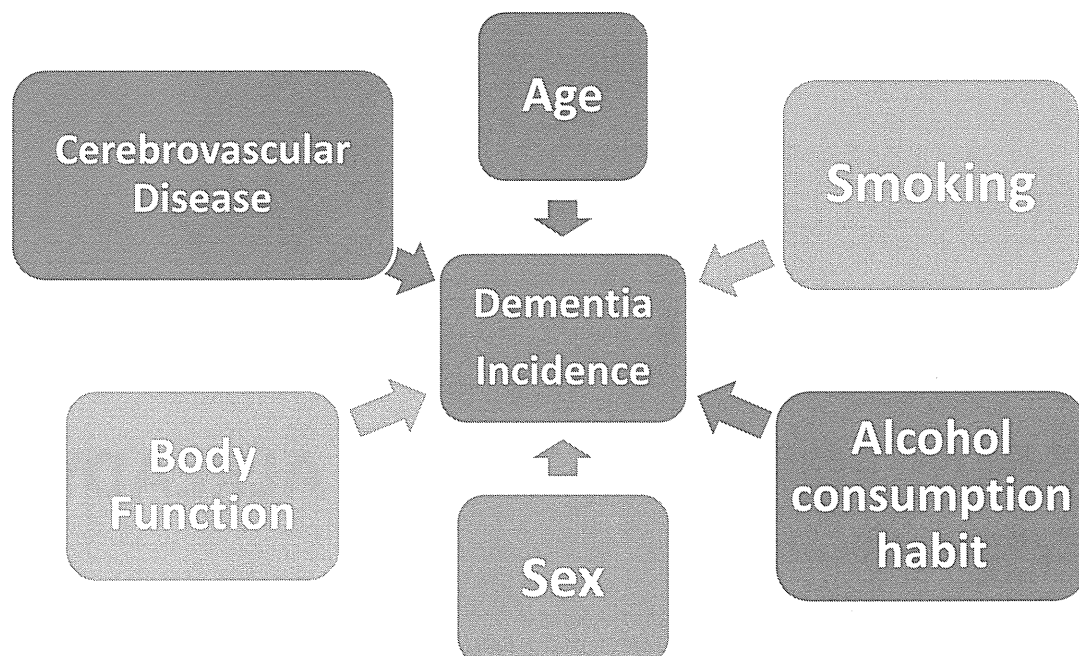
## WHAT FORMER STUDIES ALREADY FOUND

6

# The influence on LTC by dementia



# The risk factors of dementia incidence.



Anstey et al., *Am J Geriatr Psychiatry*, 2009, 17(7), 542-555.  
Luck et al., *Am J Geriatr Psychiatry*, 2012, 20(11), 943-954.  
Rakowski et al., *Clin J Am Soc Nephrol*, 2002, 1(5), 1000-1005.